

古民家で子どもたちと何でもない日々を重ねたい

2025年8月の開放日数 16日

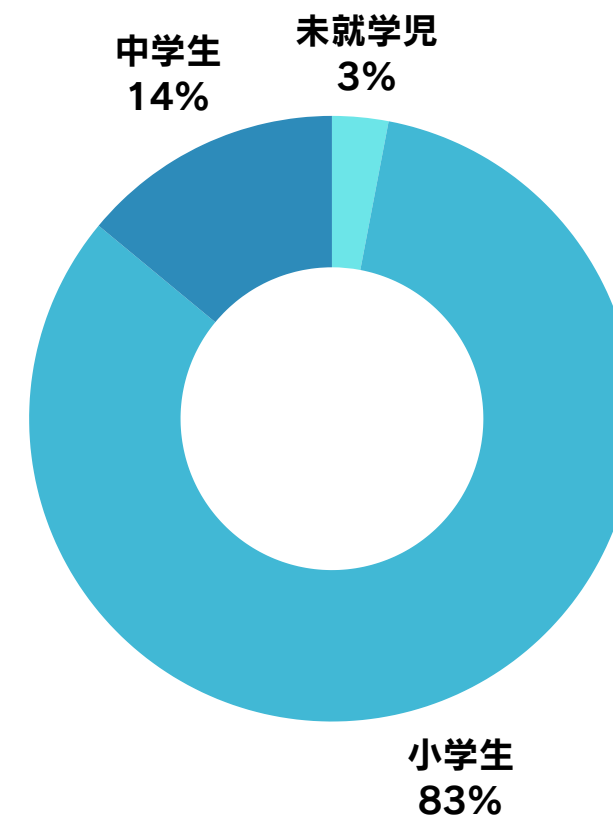
一緒に時間をすごした人数 103人

子どもとともに

わっか 月次報告書

2025年8月

71号



こんにちは、先月も応援いただくみなさんのおかげで、こどもたちとの何でもない時間を重ねることができました。古民家に視察にきてくださった方がこんな質問をされました。「季節によって、こどもたちの来る数にちがいはありますか。」考えたことがなかったことだったので、一瞬とまどったのですが、「季節では、ないのですが」と話し始めたことをみなさんと共有させていただきます。

こどもたちが、どれだけ来るかがわかりやすく変わるのは、1つめは学校が長期休暇のときです。これは、ふだんは習い事や、宿題が終わってからではあまり時間がなかったり、そんな子がやってくるなあと思います。2つめは、学校の授業がおわる時間が早いときはやってきます。学期はじめや終わりのときで、いつもより1、2時間みじかいときも、こどもたちが増えます。

季節にかんしては、あまり関連がないように思います。こどもたちに聞いていると、6時間目までだと家にかえるのが4時で、そこから勉強してとなると4時半になるんですね。勉強をあとにする子でも短いあそべる時間が、勉強をするとさらに短くなる。それが水曜日のように5時間授業で3時くらいに帰れるときは、やっぱり遊ぶ時間がある程度確保できるようです。



夏休み、こどもたちとすごしていて感じたのは、こうやってみんなでごろごろしたり、一緒にゲームしてすごす時間は、きっと彼らの根っこに残り続けるんだろうということです。そう書くと、すこし思いが強いかなあと思うのですが、ぼくはそう信じています。

ここにくることを、すべて自分たちで選んでいるかと言えば、そうではない子もいるかもしれません。でも、それでも、ここで会うことを約束して、集って、一緒に時間をすごしている、ここで何をするかは自分たちで選べる、それをすごす。こういう時間のもつものは、こどもたちにとって、いつかこの先、うまくいかないなあとか、なんでやねん、みたいなことがあったときに、もしかしたら支えになるかもしれないなあって思うのです。

なかなか日々の発信が追いついていませんが、一緒にすごしているひとりの大人として、感じたことを書かせていただきました。